

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	伊丹市立 伊丹特別支援学校 教諭 吉田 紀子	研究グループ名 (よりよい指導・支援を 考える会)	採択番号
-------------	---------------------------	---------------------------------	------

研究テーマ分類番号(9)

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ

支援を必要とする子どもたちへの指導・支援方法を見いだすために
～ 心理的側面から指導・支援について考える ～

(2)研究経過及び具体的な取組

6月19日 今年度の研究計画について

- ・実施場所及び参加人数：伊丹市立伊丹特別支援学校センター室 8名
- ・内容

今年度の研究の具体的な進め方、事例検討の方法について話し合った。

7月17日 事例検討会

- ・実施場所及び参加人数：伊丹市立伊丹特別支援学校センター室 7名
- ・講師：臨床発達心理士
- ・内容

教室に入りにくい中学校2年生男子の事例について討議を行った。対象生徒に関わる時や別室で授業を受ける時の配慮事項などについて講師より助言を受け、今後の指導・支援の方向性を検討した。

- ・成果と課題

対象生徒への今後の指導・支援の方向性を確認することができた。今後、校内で対象生徒についての情報交換・情報共有をどのように行っていくのか検討していく必要がある。

8月21日 学習会

- ・実施場所及び参加人数：伊丹市立伊丹特別支援学校センター室 7名
- ・講師：臨床発達心理士
- ・内容

親子の愛着関係についての講義を通して、親子関係や発達障害など、愛着の形成に影響を及ぼす様々な要因について学習を深めた。

- ・成果と課題

愛着の形成に影響を及ぼす様々な要因について理解を深めることができた。今後、具体的な事例について、家庭環境、親子関係などをふまえながら指導・支援の方向性を考えていく必要がある。

9月18日 事例検討会

・実施場所及び参加人数：伊丹市立伊丹特別支援学校センター室 6名

・講師：臨床発達心理士

・内容

行動のコントロールが難しい小学校2年生男子の事例について討議を行った。対象児の実態や特性の理解、支援の手立てなどについて講師より助言を受け、今後の指導・支援の方向性を検討した。

・成果と課題

講師の助言を受け、対象児への今後の指導・支援の方向性について理解を深めることができた。今後、校内委員会で対象児についてのケース会議を行い、具体的な校内体制について検討する必要がある。

10月25日 学習会

・実施場所及び参加人数：伊丹市立伊丹特別支援学校センター室 7名

・講師：臨床心理士

・内容

様々な虐待が及ぼす子どもへの心理的・身体的影響についての講義を通して、被虐待児への対応や家族支援について学習を深めた。

・成果と課題

被虐待児への対応や家族支援についての理解を深めることができた。今後、具体的な事例について、虐待が及ぼす子どもへの心理的・身体的影響などをふまえながら指導・支援の方向性を考えていく必要がある。